

かかしのまちの ミニ・マガジン

月刊

Monthly Local Magazine : Kaminoyama

かみのやま

第298号 2026年2月



「上山城」からのたより 厳冬 第199便
上 山 城

わが町再見『藤井松平』⑦ 松平信行 (4)
鎌 上 宏

◆連載◆ ふるさとへの便り ⑧
武 田 幹 雄

連載 隨筆 ⑩ 人生の終い方
橘 千 枝

結城哀草果の奇妙な唸り
上 村 祥

読者からの寄稿～藤三郎さんのことなど
佐 野 翳 彦

上山小学校時代の思い出～低学年の頃
桜 井 和 敏

観光ボランティアガイドのとっておきのお話 ②
大 貴 和 春

ぶらぶらスケッチ日記 第12回
竹 内 敏 夫

谷間のサロン
佐 藤 藤三郎

わが町再見『藤井松平』⑦松平信行(4)上山藩の支領(上)

みまさか
美作支領

みまさか
上
鎌
(水岸山観音寺住職) 宏

シニアの方大歓迎!

カラオケ開放 11:00~16:00
持ち込みOK! (酒以外)
歌い放題 お一人様 ¥1,000
◇3人以上でお申し込みください。
◇定休日: 月曜日

“熊ラーメン” おぐにのマタギ

上山市新湯2-19
サガ・ソシアルビル2F
TEL. 090-2950-2791

美咲花咲め
月ぎめ
パークリング
かみのやま温泉駅東口
とても便利ですよ!!
タイムズモビリティ
のカーシェアリング
あります。 673-1895 [鈴木]

こんな困りごと
ありませんか?



宝石・メガネ・時計

タニ工

上山市石崎2丁目1番33号
023-672-0364
携帯: 080-3330-6973

名は『御傳記』をご覧下さい。ただ、中・下郷八ヶ村は美作久米南・北条郡、勝北郡との交換で、久米両郡は津山城(鶴山城)の南の吉井川の西岸、勝北郡は津山城の東で吉井川の東岸にあり、出羽村山郡の中・下郷領は九ヶ村が美作支領は三十一ヶ村、吉井川両岸に広がる小さな村々との替地でした。上山藩の代官所は上打穴上村にあり、遠方で点在する小村からの年貢収納は煩瑣で、吉井川の荷米下しは何度も繰り返されたとものと察せられます。

しかし、美作支領は長く続きました。主な要因は上山藩側の問題ではなく、幕府と津山藩側にありました。津山

戸幕藩時代の全国領地(幕府直轄地、藩領)は、幕府成立時の論功行賞と体制維持のために布かれました。領知(天領と藩領)は時代を経て変化します。旧最上領も分与され、上山藩は能見松平重忠(四万石)で立藩となり、七十五年後に藤井松平信通(三万石)が入部、領分は中山・山元・金瓶・久保手を除く現上山市(城廻り周辺郷と中・下郷領)でした。しかし、干魃で中郷領の水争い、又上郷でも大雨や洪水で川欠、青立ちが発生、代々藩主は年貢減収の常態化に苦しみ、先物年貢が抵当に入るほどでした。家臣の俸禄半減、農民自体「百姓相立ち申さず候」の酷さです。家督を継いだ信行侯は借米利息25%のうち5%を懐から貸主に返済し、家臣を感激させたということです。

そして、信行侯は文化十年(一八一

三)に自らの出生地「美作国」に、永年の願いであつた支領替えを上訴し認められました。出羽村山郡内の中・下郷領(山形は、美作国(現岡山県)久米郡(南・北条)、勝北郡内の三十一ヶ村との替地の

実現です。家督を継いだのは文化二年(一八〇五)ですが、当時の出身地美作津山藩は五万石で、周囲に幕領地(代官支配)と他藩預地の天領があり、そこには大坂城代、京都所司代の領知(もと上山藩主土岐頼殷の大坂城代領知を含む)がありました。津山藩隣地の幕領地を願い、実現したのです。

信行侯出身の津山藩は父松平康哉(五代藩主)長兄康又(六代藩主)、次兄康孝(七代藩主)でしたから幕府へ支領替えを願つてがありました。『土芥寇讐記』(一六九一刊)で比較対照すると、上山藩領地は「江戸より八十七里。米よく生ず。土地中なり」で、城廻り領は高一万千

石余該当分は、主に江戸詰用資金として最上川を下つて酒田湊から北廻船で大坂へ舟運、換金されました。しかし、船町からの手間賃と酒田・大坂商人の換金手数料は時代とともに跳ね上り、干魃時には座礁で荷米が水に浸かるなどして歴代領主、重臣は藩替えをも望んでいたのです。

文化十年に出羽村山郡内の支領地から美作国幕府直轄領との支領替えが実現したのです。『土芥記』によれば、津山藩領地は「江戸一七一里余、米能く生じ、払いよし、土地上」です。美作支領の村

藩第二代の松平浅五郎は十一歳で逝去し、改易のところを家系により五万石減封とされていました。津山藩では家格を復したいと願い続け、折しも「大河ドラマ『べらぼう』」に登場の一橋家出の将军第十一代家斉公は息子二六人、娘二七人の子女で子宝に恵まれ、その十五男銀之助を津山藩第八代藩主として迎え入れることで、文化十四年(一八一七)に初代藩領知以来の十万石に復することになりました。出羽上山藩の美作支領はこの間にあつたことになります。

津山城近隣にあつた美作支領は美作藩が十万石に復する際に収公され、代替として越後国三島天領に替えられることに

なりました。当時の越後国長岡藩九代牧野忠精は奏者番、寺社奉行、そして上山藩主が勤役した大坂加番の城代(信古加番二回目、信愛加番一回目の折りの城代)、また老中(任一八〇一~一八一六)で、越後国で新田開発を続け幕領預地を有していました。この幕府領地の変化の中に上山藩の支領替えが実現した背景があります。

※上山郷土史研究会研究誌「上山の郷土」(第二号、令和八年三月刊)に「上山藩支領」を掲載しました。詳細はそちらをお読みください。

〔参考文献〕『近世非領国地域の民衆運動と郡中議定』(青木美智男著、『市史』及び『市史資料』御傳記、議定、年代略記、見聞日記)、『上山見聞録』(大坂加番)、『土芥寇讐記』(上山藩、津山藩)、『津山市史』、『江戸幕府直轄領の地域的分割』村上直論文

◆連載◆ ふるさとへの便り 第八十四回

武田幹雄
(上山出身・千葉市在住)

長嶋さん、承前。昨年十一月、長嶋さんの「お別れ会」が東京ドームで行われた。「永久に不滅」のミスターに、永遠の別れを告げるその日は天晴れな秋空。いいただいたカードはユニフォームの後ろ姿。「FOR 3 EVER」とEを3と粹にあしらつてあつた。

比類のない最大のコンテンツを失した読売グループが、総力を挙げた会である。ドーム内に設えられた祭壇は33333本の白い花に囲まれ、長嶋さんの遺影が微笑んでいる。生前の映像が流れ、三人が弔辞を読んだ。共に巨人、そして球界を支えた王貞治さん。「長嶋さんお元気ですか」と静かに語りかけた。鎬を削りあつた日々を思い出したのかもしれない。続いて松井秀喜さん。三十三年前のこの日、ドラフト会議で松井さんの交渉権を長嶋さんは自らの手で引



き当てている。そんな偶然が重なつた中で「別れの言葉」を述べた。生前に二人が交わした秘密の約束、それは巨人の監督就任に他ならない。松井さんは遺影に向かって「やります」と言つているように思えた。最後は「宮本武蔵」を演じた北大路欣也さん。その演技に感動した長嶋さんは手紙を認めていた。グラウンドに関係者約三千人。スタンドには選ばれた約七千人のファン。その中で透き通る張りのある声で朗々と長嶋さんが送った手紙を披露した。指名焼香はサッカーの川淵三郎さんをはじめ各界から二百人を超えただろうか。

長嶋家からは次女・三奈さんが出席、長男・一茂さんの姿はなかつた。その日の朝は民放の番組に出ていたから、都合がつかなかつたのだろう。現役時代は親の七光りから「たかが一茂、されど長嶋」などと揶揄されたが、いまやバラエティ番組には欠かせない視聴率が取れるタレントだ。その一茂さんが出演する「ザワつ

昭和の本箱 まちライブラリー
けやきの家
今年度の営業は終了致しました。
ご利用、ありがとうございました。
感謝申し上げます。
2026年度の営業開始は4月11日となります。

□オープニングイベント……
4月11日、12日ユニークあるほなつきをお招きしてのワークショップです。
ご期待ください。

Wi-Fi P 3台
.....
上山市八日町(青山医院の北)
詳細は……けやきの家まで
080-1394-5853



第59回茂吉忌合同歌会
開催: 2026/2/22(日)
※申込なく聴講いただけます

特別展 茂吉とふるさと
-みちのく界隈-
会期: 2026/3/31まで
※詳細お問合せください
休館: 水曜日
斎藤茂吉記念館 672-7227

企画展
「かみのやま城のひなまつり」
■会期 2月14日(土)~4月5日(日)
[9:00~16:45] ※毎週木曜休館]
■内容 上山城保管の江戸~現代まで雛人形、および、「花布の会かみのやま」(上山市)と阿部美枝氏(中山町)からご提供いただいた作品も併せて展示。
■料金 上山城入館料
お問合せ
上山城
上山市元城内 023-673-3660

く!金曜日」写真はテレビ朝日から「これは旨い」「是非行つてみたい」と話していたのが、日本橋、ジジ&パパの名物料理、山形牛とキノコのハヤシ風ミートパスタ。放送翌日はいつも増して、通りから店まで客が門前市をなした。

ジジ&パパは一九七七年四月に開店した。畏友の一人、駒沢幹夫君が二十代に開いたレ

ストラン。店名が面白かったのか、口コミで噂が広がり、宣伝もないのに開店の日から行列が出来ていた。当時は東京駅に近い、銀行が入るビルの地下。ランチには男性が入るのに尻込みするほど女子行員で溢れかえつて、ポテト料理が有名な店になつていく。

現在の店に移つて、ここ日本橋界隈は生

き馬の目を抜くような飲食店の激戦区。そこで「予約が取れない」がキーワードの繁盛店になつた。個人レストランがこれだけ長く続くのは稀なケースだ。人生をノンシャランと生きてきた身には想像もつかない苦勞もあったはず。でも奥様と山あり谷ありの二人三脚。コロナ禍も乗り越えて来年は開業から五十年、半世紀。息の長い店を目指してつけた店名だが、名実ともに「ジジ&パパ」になつてきた。これからは二代目、伴の男(だん)君の時代。長嶋さんの「FOR EVER」にあやかつて長く続くことを願つていい。

連載 隨筆 ③〇 人生の終い方

橋 千枝
(エッセイスト)

あちこちで「墓じまい」「家じまい」という言葉を聞く。十年前は聞かなかつたのに、いきなり誰もが直面する問題として騒がれている。なぜ「終」必要があるのか？ 人口減少や時代の価値観の変容によって仕方のないことでもあるが、自分の代で何とかせねばと焦つてやつているようにも感じている。

私自身も墓守の立場だが、先祖代々続くのが当然という時代ではなくなり、「負動産」の始末にも困っている。自分の代でやるべきことと、次世代に任せるべきことの区別も難しい。皆が口を揃えたように「子どもに迷惑をかけたくない」と言う。しかし自分が始末することで子どもが「楽」になつたと思うものは何か？ それこそが各自

の価値観で、慣習に縛られないようになつただけに右往左往している時代なのだろう。死んだら終わりという価値観も、家や地域のしがらみから解放される良い面もあるが、次世代が「帰る」場所を失うことでもあるのではなかいか。あちこちで起る孤独な人間が暴れる事件は、帰るべきところを無くしたからのようにも見える。

先日、父の教え子からハガキが届いた。父の若い頃の教え子は既に八十九歳。老境に入り、できることが少なくなつたとのこと。当時聞いたという父の言葉を教えてくれた。「良かれと思ひ行動したことなどが結果が悪となつた時、このことを悪と言つてしまつていののか」思わず「ああ」と声が出た。父は手術の失敗が原因で亡くなつた。

まだ初期で内視鏡で取れるという話だつたのに。かといつて執刀医は「良かれと思って」やつたのだ。それが失敗に終わり死に向かって行く過程を、父はどう感じていたのだろう。そこから亡くなるまでの父の苦しみは、間近に見ていた私の苦しみの記憶でもある。

一人暮らしになつた母はプライドが高く介護は過酷だつた。認知症が始まつたので世話をしようと思っても「ボケたと思ってバカにして！」と罵倒して来る。なぜ素直に「助けて欲しい」と言えないのか、その愚かさに辟易した。助けてくれと言われば、いくらでも助けるし、一緒に楽しい想い出も作れたのに。

友人のW氏は、「子に迷惑をかけな

い」というけれど、そのノウハウは何にも載つていらないと言う。私は、面子を捨てて周りに「助けてくれ」と言うことだと思う。それが双方にとつて良い結果に繋がる。親もやりたいことを続けられるし、子も介護したという達成感で心穏やかに親を見送ることができる。

かといって、それもまた人それぞれだ。知人は母親が認知症になつた折、逆に「何でそんなこともわからないの」と非難したことを後悔していた。それは知識のなさもあるが、親はいつまでも親のままであつて欲しいとい



う子の甘えから来ているのだろう。親子関係もまた人間関係であり、それまで築いて来たものが介護時に一気に現出するように思える。早死にでもしない限り、親はいつまでも親でいることはできない。双方ともに、親子の立場が逆転することもあると覚悟するところから、別れるための一歩が始まるような気がしている。

今を生きる。悔いなく生きる。もつ自分ができないと思ったら、周りに助けて欲しいと言う。それがシンプルイズベストだと思っている。

水岸山慈眼院
観音寺
最上三十三観音第十番
上山三十三観音第一番
山形県上山市十日町9-29
電話 023-672-1421

**吉井内科胃腸科
クリニック**
診療時間【木曜日休診】
月・火・水・金・土
A.M. 8:30-12:00
P.M. 2:00- 6:00
但し、土曜日の診療は4:00迄
院長 吉井英一
023-673-7515
上山市金生東一丁目10-15

**成人・入学期前撮り
キャンペーン！**
2月撮影1,000円
合計金額より割引中！
高橋写真館
SINCE 1999 TAKAHASHI PHOTO STUDIO
TEL 023-672-0541 完全予約制
営業時間 9:00~18:00(日曜日17:00)
mail: info@takahashi-photo.net
上山市十日町8-5 定休日:火曜日

結城哀草果の奇妙な唸り

上 村 祥
(文芸愛好家／上山市在住)

わたしが小学生の頃の記憶なので、遠く今から六十数年前の話になる。

父が大沢文蔵氏、金森まさ江氏らとともに上山短歌会を立ち上げ（正確な年は調べていない）、定期的に歌会を開いていた頃の記憶だ。その歌会をどこで開いていたのかもわからないが、講師として毎回山形から結城哀草果氏を招いていたようだ。そして、例会が終わつたあと結城哀草果氏はすぐには帰らず、なぜか我が家に泊まることが多かつたのである。



結城哀草果（中央）と上山短歌会の会員

想像だが、たぶん理由は簡単で、会として宿泊代を節約する必要があったということなのだろうと思う。もちろんわたしの幼い頃の記憶なので細部は曖昧になつてしまつていて、その結城哀草果氏について、二つの強烈な印象がいまだに脳裡に残つていて忘れられないものである。

その強烈な印象の一つ目は、氏独特的の服装だ。掲載した写真にも写つてているトレーデマークの「もんぺ姿」だ。しかも定番のようにいつも風呂敷包みを抱え、下駄を履いて帽子をかぶつていたような気がする。

当時でさえ男性のもんぺ姿は稀とい

うか、あまり見かけることはなかつたため、なおさら印象深かつたと言えるかも知れない。

そしてもう一つは、氏が我が家のトイレに入つたときには必ず起つる不思議な出来事だ。

それは子どもだった私の耳には「おうううおううおううおうう」という奇妙な唸りにしか聞こえない氏の発する「声」の印象だ。その響きが醸し出す不思議な雰囲気が心配になつて父に訊いたことがあつた。

「具合悪そうに唸つていてるんだけど…」と。すると父は笑つて教えてくれた。

「先生がリズムを整えながら歌を作つていてる声だから

ら心配ないんだよ」と。

いまから考えれば、なるほど声を出しながらことば＝作品を生み出していたということに過ぎない。つまり、音韻＝声調を確かめるように、納得いくまで作品を推敲していったということなのだろう。

しかし、その後、わたしは他のただの一人の歌人も実際に発声しながら歌作をしている場面と遭遇したことはない。だからこそ強烈で、しかも奇妙な体験であったというほかない。

そんな結城哀草果氏も、父も、もうとつくなこの世にはいないのである。

ナチュラルベーシックが好き



ソフィア
SOPHIA
tel&fax. 023-673-0517
上山市南町2-7

泡エステで10歳、若返りませんか！

ムース♥デコ



♥ニキビ・美白・
吹き出物 リフトアップ
♥毛穴の黒ずみ

♥シミ・小じわ♥手の荒れ

♥アトピーなど

特許取得
原点に戻った新発想
他店にはないメニュー！

アライ美容院
ご予約: 673-3002



すばら

上山市金生東二丁目
023-673-3103

読者からの寄稿～藤三郎さんのことなど

佐野嗣彦
(安曇野市在住)

十月末、数十年ぶりに佐藤藤三郎さんにお会いするため上山市の狸森へむかいました。私も所属する生活クラブ生協・東京の一組合員が藤三郎さんの「大ファン」。一度会わせてほしいというのでお願いしたところ、藤三郎さんとキさんご夫婦にご理解を得ることができて実現しました。かみのやま温泉駅で合流しタクシーで市役所山元支所まで行きました。ここ旧山元小中学校の入口にある大きな自然石の石碑や銘板を見てもらい、「文集・山びこ学校」の経緯を説明しました: そしてここからご自宅まで、小・中学校生だった当時、通つただらう坂道を歩いて訪ねました。

久しぶりにお会いしたのですが大変お元気なご様子で、最終校閥段階になっていて近々出版予定の書籍のことが話題になりました。また、「心臓を傷めた…」とおっしゃるので「藤三郎さんの心臓でも悪くなるので

すか?」と冗談を言つたら藤三郎さんは、医者からも「心臓が二つあるのか?」と言われたとのこと: 皆で大笑い。実は予てからその組合員は、「藤三郎さんの書いたものには『色気』を感じる。一度お会いしたい」と話していたことだけはご本人を前にして触れませんでした。また発作が起きると悪いのです:

話は飛びますが、「月刊・かみのやま」は山形に来た時にはできるだけ手に入れるようにしてきました。山形市内の母の実家に立ち寄つたり、登山や列車旅の途上などなど様々にです。この誌面に登場する藤三郎さんの連載は大の楽しみで、例えば随筆のなかに時折登場する「女性」たちへのまなざしは、読み進むにつれてほんのりとしたオトコゴコロが浮かんで見えて来るのです。本心とは思いますが(失礼!)さすが詩人でもあるれる氏の匠の技でしょうか。とても健康的で明るい

視線です。…ところがです。近年号では同時に知つてか知らずかご自身が歳を重ねてきた姿が如実に映し出され、ついにはご自身もそのことに気づいてしまうというストーリーが多くなりました。例えば二〇一八年正月号の『恋の夜道』などと比べるとその違いが分かります。そんな「号」のときは同じ『いのしし年』の弟分として、読み終えて少なからず寂しさが沸き上がつてしまふのです。

私事ですが祖父は、山新の記者(初任地・上山支所)や市議会議員: その他いろいろな職を経た人だったらしいのですが、生涯をつうじて結城哀草果の愛弟子

だったようです。藤三郎さんのかつての「先生」、一昨年亡くなつた無着成恭師は哀草果とご近所集落の出身で、しかも哀草果の墓がある曹洞宗沢泉寺の長子、その関係性を知つたのは近年になつてからのことでした。かねがね祖父の軌跡を追つてきしたことや仕事柄山形を縦横に訪ねてきたこと、山巡りが好きなことなどなど、これからも山形との縁は続くのですが(遠路なので熱心な読者とはいいかないのですが)、「月刊・かみのやま」が山形へ深く接近するためのツールになつていることは本当にありがたいことです。



丸松物産株式会社
山形工場 上山市新北浦3番地
TEL 023-673-5511
http://www.marumatsu-mb.co.jp



上山小学校時代の思い出＝低学年の頃＝

（上山市出身・山形在住）

『いで湯の町としたわて その名もかおる
上山……』 上山市立上山小学校

校歌の歌い出しの部分です。私が入学したのは昭和二十七年ですから、まだ南村山郡上山町でした。入学前に『顔見せ』という行事があり、飛び上がって喜んだのを思い出します。東北屈指のマンモス小学校と言われ、体操場体育館が二か所もありました。その当時の校舎は管理棟と続く教室棟と少し高い位置に東校舎があり、そこで中間にさらにもう一棟の教室があり、そこが私の通った教室でした。その三年後、西校舎が完成するとその教室棟が取り壊されました。その分グラウンドが広くなつたのです。終戦後ではありました、が、今の衣食住と比べると質素な六年間でした。でもその時代に育つた私たちは物資には恵まれなくとも、心の豊かさを求める生活の工夫がいつもありました。例えばなるべくお金を使わない子供の遊びに見られます。そこに物づくりの知恵が産まれるのです。

どを覚えております。

かけつけの五十㍍疾走は七、八人で区分けされピストルの合図と共にスタートしますが反応が遅かったのか自分がどんどん追い越され、何等賞になつたのか分からず、応援に来ていた母から『後ろに誰もいなかつたら、げつペー賞だな』と笑われました。

二年生になつてからあの悔しさが忘れられず、かけつけは近所の子供でもよくやりました。そのお陰か三等賞になつてノートを貰つた時はとても嬉しかつたものです。

最後に六年間グラウンドに流れた行進曲のメロディーはよく覚えていますが、誰に尋ねてもその曲名が分からぬのです。冒頭の部分のみ五線譜を添えますが、どなたかご存知ならお

竹馬、竹トンボ、凧、ゴム鉄砲、水鉄砲、糸電話、紙飛行機、カルメ焼き等々。

今年の大寒は一月二十日火ですが、小学生の頃は大寒を挟んで一週間の冬休みがありますが、遊びに夢中でいつも後回しでした。その冬の遊びは本誌でも紹介しましたが、月岡神社西側の長い坂でのそり遊び、雪玉合戦、雪玉割り、路上でスケート乗り。屋内では何と『百人一首』をよくやりました。休みが明けると登校の時の服装は黒足袋に毛糸の手袋、ランドセルごと黒マントでまとい、スキー帽に耳掛けを付けて通学したものでした。通学の途中、二日町と十日町を挟む十字路十五屋本店前にはいつも木村こけし屋の息子さんが横断歩道を渡る生徒たちに旗を振つて立哨指導をしてくださいました。大きい声で挨拶すると励ましの一言を頂くのが励みとなり元気づけられました。学校に着くと草履に履き替えて教室に入つてもそれほど温かくな



知らせください。

歳を追うと時の流れが『光陰矢の如し』、一年という時間はアッとと言う間に経つてしまうようになります。高齢者は毎日の生活で体験に乏しく、同じバターンの繰り返しに陥つてしまつからなのでしょうか。経験が豊富な余り、日々の出来事には漫然と受け流してしまつからなのだろうか。それに對し子供の頃の一年は長かつたと感じます。『それは、子供の頃は感受性が鋭く、学校で学んだ驚きや感激したことなど記憶の中枢にしつかり収められる。一日の中にたくさんの体験や経験が豊富でトキメキがあつたからですよ』とある心理学者はこう言つのです。

いのです。当時は『字型をした『ねずみストーブ』が主でした。燃焼率が悪く不評で後に『だるまストーブ』に替えられました。ストーブの付近の生徒は温かが（燃焼が激しいと逆に熱過ぎた）後ろの生徒は窓からの冷たいすきま風に寒くて震えていました。冬季には木製の温飯器がストーブを閉んで取り付けられ、おかげで一緒に弁当ですと教室内は異様な匂いがただよい気になりました。たくあん漬は特に強烈でしたね。

さて、次に秋季の大運動会の話題を挙げてみましょう。紅白の組み分けは自分の希望ではなく担任の先生によつて決められました。私はいつも赤組でしたので、こんな応援歌を覚えていました。『月岡様の杜は青く今日は楽しい運動会走れ跳べ跳べ赤組健児 どうどう勝つた赤の大勝利』。各競技は紙面の都合で特に印象に残つてゐるのを取り上げます。一年生だった頃の学年遊びは童謡『ペコの子牛の子』でした。二年生では、組み体操、三年生ではムカデ競争な



協賛していただける
スポンサー様を募集
しております。

文化的に潤いのある故郷づくりに、少しでも寄り出来たらという願いをこめて、2001年5月号より発行し続けております。

ご協賛頂けたら幸甚です。

ご連絡は

電話 090-3363-5978
FAX. 023-673-2023迄



観光ボランティアガイドの
とつておきのお話

—— 第二話 ——

大貫和春

私は上山市で観光ボランティアガイドを始めてから今年で九年になります。月二回第一・第三土曜日の午後に上山城内の案内、そして年に数回程度街歩きの同行ガイドをしていますが、「今日はどんな出会いがあるだろう?」といつもわくわくしています。上山城内の案内は、まず上山城入ります。上山城内の案内は、まず上山城入り口ロビーで待機し、入館されたお客様に「無料で館内をご案内します」とお声がけします。お客様から「お願いします」と言わなければ案内を開始しますが、最初にどちらから来られたのかお尋ねします。

「庄内刺し子の半纏を着ていつた者です。」と話すと、お客様が驚いて「根城で受付をしています」とのこと。私も一瞬驚き、「庄内刺し子の半纏を着ていつた者です。」と返すと、根城の受付でいろいろ話したのでお客様も思い出したようで、一気に緊張が解けました。因みに、私は「日本一〇〇名城」巡りの最中、庄内刺し子の半纏をいつも着用していましたが、「素敵な刺し子ですね」と話しかけてきたのはほとんど女性でした。

二〇一七年六月にこんなことがありました。小さなお子さんを連れたご家族から依頼されたのですが、いつもの様に「どちらから来られましたか?」と尋ねると、「八戸から来ました」とのこと。当時、「日本一〇〇名城」巡りをしていた私は二週間ほ

また、二〇一八年四月にはこんなこともありました。マレーシアからの団体客を案内した時のことです。バスから降りてきたひとりの男性が「アパカバ!!(マレー語でごきげんいかが)」と話しかけてきました。私は咄嗟に「カババイ!!(同元気です)」と

みに来られたのですか 前日に謁れた「白石川一目千本桜」は既に散っていて、がつかりしての上山入りでした。上山では武家屋敷を案内したのですが、桜がちょうど満開で、さらにこぶしや菜の花も満開でした。お客様は大変感激し、盛んに写真を撮っていました。拙い英語でしたが、満開の花々がそれを補ってくれました。余談ですが

からです。

が、アジア系の人と話す時はどちらも不自然で、テイブスピーカーではないので気が楽で、一方、欧米系の人と話す時はかなり緊張します。文法や発音などが正しいか気になる解しようと双方が努力するからでしょう。

一方、自分と同じ趣味の持ち主と出会うこともあります。 性は漠然と聞いていた方が多い。 しかし、私はいつも観光ボランティアガイドの楽しみのひとつです。「日本一〇〇名城」を制覇した人を案内した時は、お城談義に花が咲き、通常の時間を大幅に過ぎ、二時間近くかかる（通常一時間以内）話したこともあります。

国遍路も結願し、五街道も全部歩いたたといふ女性に会つたときは驚きました。次は何をされるのかお聞きすると、日本にある世界遺産をすべて巡ると話しておられました。こういうとんでもない人と出会うことにもまれこあります。



※日本一〇〇名城 ①優れた文化財・史跡であること、②著名な歴史の舞台であることと、③時代・地域の代表であることが選定の条件で、国宝の姫路城や松本城をはじめ各都道府県から少なくとも一城が選定されています。山形県からは山形城だけが選定されてい

ぶらぶらスケツチ日記 (12)

『県内あちこち観劇巡り』

竹内敏夫
(上山市在住)

大切な家族の一員
だつたペットの
供養をいたします



納骨供養料
15,000円 (納骨料・供養料)

葬儀のご相談も
承ります

※毎年9月の動物愛護
週間中の土・日に
供養会を行います

ほうらいいん
蓬萊院

上山市小穴42番地
TEL 023-673-2909

ワイヤーカット加工による金型部品加工
金型・治工具設計製作

有限会社
山上企画

〒999-3122 上山市仙石1263番地5号
TEL. (023) 673-1114 FAX. (023) 673-1115

有限会社
大崎金型

〒981-3604 宮城県黒川郡大衡村駒場字添右衛門橋3-162
TEL. (022) 345-5378 FAX. (022) 345-5378

たからだと思います。それで、所属していた「劇団北」のことを簡単に書きます。

昭和三十八年に発足以来五十年ほど活動し、毎年名作劇、創作劇の定期公演はじめ、小劇場公演、県内巡演(県依頼で)、他劇団との共演など百本以上公演し、ラジオ、テレビ、映画などへの出演もしてきました。

お陰様で県芸術祭賞のほか昭和五十六年には茂吉文

老人問題を扱った劇団だいこん座の「川のほとりで今日も静かで」を観た。タイムリーなテーマでしたが会場の客が少なく劇に入り込めなかつた。観客動員に力を入れ舞台といっぱいの客席で劇を創つて欲しかつた。

二週間後に同会場で、世界でただ一つの「クラゲ水族館」として有名になるまでの加茂水族館をとりあげた出羽庄内市民ミュージカルの「世界一の水族館～加茂水族館物語」を観ました。が、水族館が多額の借金で苦しむ土壇場の悲壮感がもつと強く出ていれば、成就したときの感激が強く伝わつてきたのにと惜しまれました。

同月二十九日は山形市民会館で劇団楽天夢座の恐怖の心理劇「室温」で

翌三十日、川西町のフレンドドリーブラザでフィリピン女性の外国人労働者を取り上げた劇団菜の花座「あなたの国、わたしの」を観ました。が、彼女のたどたどしい語り口が目立ち出た。が、彼の演技との絡みが弱く物語の訴えが弱かつた。

そして十二月十四日に遊佐町の生涯学習センターで、ゆざ演研の「パンク・パン・レッスン」を観劇してきた。はるばる月山を超えて鳥海山麓まで

した。外国の戯曲で国内プロ劇団が鶴屋南北戯曲賞を受賞している名作です。ホラーと笑う場面の双方で観客をドップリ引き込みお見事でした。観客を会場いっぱいにしたのが良かったし、しっかり練習したのが伺えました。

翌三十日、川西町のフレンドドリーブラザでフィリピン女性の外国人労働者を取り上げた劇団菜の花座「あなたの国、わたしの」を観ました。が、彼女のたどたどしい語り口が目立ち出た。が、彼の演技との絡みが弱く物語の訴えが弱かつた。

そして十二月十四日に遊佐町の生涯学習センターで、ゆざ演研の「パンク・パン・レッスン」を観劇してきた。はるばる月山を超えて鳥海山麓まで

社会人になりアマチュア劇団の「劇団北」で約四十年続け、未だに「演劇」に付き合つております。今は演劇公演はせぬもっぱら「観劇」だけですが、配役の仕草や照明・音響効果に接していると、彼らの練習内容や裏方の努力加減が観えてきます。芝居をやつてきます。

十一月八日に鶴岡市中央公民館で、

老人問題を扱った劇団だいこん座の

前から良い芝居をしてくれる劇団

です。このたびは銀行窓口が舞台で、行

員の「銀行強盗模擬訓練」をする芝居でした。行員と強盗役が模擬訓練して

いる「強盗ごっこ」と知りつつ、意外な進展で観客はツイ騙され、気づいた時には「嵌められた快さに思わず拍手喝采」。幕が下りても拍手が鳴りやみませんでした。観劇後は上山迄快く帰りました。

行つた甲斐がありました。



化賞などを受賞しました。団員の高齢化などで活動はしていません。私は昭和四十年に舞台装置係りで入団し、後に役者を任されるようになり初舞台では声が出なくて悩みました。その後は県民会館の大ホールでも十分声が届くようになり、定期公演には殆ど出演しており、昭和四十七年の第9回「未必の故意」定期公演では主役の消防団長をさせていただきました。今後は、現役劇団を応援する気持ちで観劇していきます。

谷間のサロン

佐藤藤三郎
(著述業 農業)

昨年の暮れ、谷間のサロンで「そばを打つて食う会」を催した。一昨年にも行なつていたので原口の剛仁君から「今年もやるべ」といった声掛けがあつてそれがすぐ実行に移された。

その会のことをこの稿では「サロン」と私は勝手に名付けた。軌道に乗つたら「光風苑」としたらとも考へている。

以前山元地区では「そばまつり」といつたたいへんな事業を行なつていた。それには上山市内はもちろん、山形の市街などからもやつて来てくれて、千人もの人が集まる、そんな大きな「まつり」(事業)になつていた。

それがコロナ禍を機にすっぱりと止めになつた。再起の声も無いではなかつたが、なにせそれを行なうスタッフが高齢化したゆえ残念ながら復活は不可能のようである。

でも少人数の仲間たちであれば、というので一昨年に季一郎君が納屋につくつたサロンでそれを行なつたのである。集まつたのは八人だつた。

此の度は十人に呼びかけた。すると飛びようにしてやつて來た。その場所をまだ誰もサロンなどとは言つていないし、当主の季一郎君もいつていないので、私だけが「サロン」でいいと思つている。

そのサロンには薪ストーブがあり、季一郎君の手製による十七チ程の厚い板で作つたテーブルと、どこからか集めて來た古い

事が出来なかつた。

乾杯はそばを食べ終えてからだつた。アルコールの入つていらない山葡萄のジュース。この高級で高価なものは修君の提供だつた。

私はいま山間の村で八十六歳になつた婆との二人暮らしだ。上の家は空家、下の家もわが家と同様老人の一人暮らし。向うの家は男一人だけ。だから他人の顔も姿も目にしない日が幾日も続く。ゆえにコミュニケーションの場が殆んど無い。昔は、村の女たちは「お茶のみ」といつてよく集まり、漬物で茶を飲みながら世間話や色談義などで賑わつてゐた。男たちは用達しにいくと「お茶代わり」といつて湯飲み茶碗で酒を呑ませ自分も呑み、あれよこれよとお喋りをしていたものだが、そんなこともなくなつた。

私はこの頃それの再起を切に望んでゐる。大きな「祭」は出来なくとも少人数のサロンでならば、町の居酒屋などに行けない私などにでもそれならば出来る。だからそれが出来るサロンが欲しい。

表紙のことば

ポピーを描く

木村輝子

春の気配を感じる頃、花屋の店先にいつときポピーが入荷する。『この機を逃さじ』、とばかり急いで買い求め

スケッチをして来た。表皮の坊主頭と今にも折れそうな細い茎。

忽ち表皮を脱ぎ表れる畳まれた葦。薄緑の花びらが大きく華やかに開いて。この響宴を忘れるものか、と我が眼を釘付けにし、手は休む事無く画帳を走り続ける。花は何でも難しいが、ポピーは特に難儀だ。



椅子がある。そばを打つ道具も揃つていて十人位が気兼ねなく集まるにはちょうどいい場所だ。冬は長靴、夏は地下足袋。作業着のまま、たやすく集まるそんなところだ。私はそうしたところを何といつたらいいのかずいぶん考えた。そして思い浮かんだのが「サロン」という言葉だ。

私は手足が不自由になつてるのでストーブに燃やす火の番の役を担つた。用意されている薪は杉の木だつたので檣の木等よりは長く持たない。だから忙しい。

そばは勢い良く湯を沸かしてその勢いで浮いてくる、そのようにして茹でないと美味しくないのである。だから目を離してはならないのだ。

茹でるには久夫君と光平君が懸命だつた。それが出来ると老輩たちに「先にあがつしゃい」との声がかけられた。働かないものが先に、というのにはいささか気がひけたけれど馳走になつた。

さすがに地元山元産のそば、その香りは町のそば処のものと違う。姿形はそれとは違つていても田舎のサロン(山小屋)の味と香りがする。

この場に濁酒があれば、と私は思つた。すればもつと山間の山小屋がサロンらしくなる、そんな思いがした。しかしみんな車でやつて來たので義昭君が折角持参してくれたワインも口にする

いつか私は何かに書いたことがあるけれども、大分県の湯布院の観光を立ち上げられた中谷健太郎さんのコミュニケーションと言う言葉が忘れられない。

観光を立ち上げたのはコミュニケーションの場をつくりそこで喋りあうことだ、と氏はいう。そしてそこから新しい考えが生れるといい、それにはその時に交わす材料が必要だと重ねて言う。そしてそれを葉書一枚のようなものであつてもいい、といふ。そしてそれを探しに、中谷さんたちはよくドイツに行つてゐるといふ。ドイツには農家民宿のようなものが多くあるらしく、そこに行つていろいろな人に会い知識と知恵を買つてくるのだそうだ。私が湯布院を訪れた時にも玉の湯旅館の女主人はドイツに出来ているというのでお会い出来なかつた。そしてそのことをその父親である溝口薰草さんはいとも軽々しくドイツなどは遠い国のように思つていていたらしく、言つのである。

それはともあれ地域を賑やかにするのには人が集まる場を持つことだ。諸君よ、この谷間のサロンに集い給え。そして面白い話しお話をしようではないか。

上山市観光課 〇一三(六七〇)一一一
上山市観光物産協会 〇一三(六七〇)〇八三九
かみのやま温泉旅館会 〇一三(六七〇)一四五六
上山市立図書館 〇一三(六七〇)〇八五〇

かみのやま
温泉駅東口

蟹仙洞 ●

1F 美容室
シユシユ
2F 成蹊学習塾

美容室 Chou chou シュシュ
http://chouchou6736030.blog.fc2.com
上山市矢来4-8-1 ☎673-6030

上山城郷土資料館 〇一三(六七〇)三六〇
JRかみのやま温泉駅 〇五〇(一〇一)六〇〇
蔵王坊平観光協議会 〇一三(六七九)一三一
蔵王猿倉観光協議会 〇一三(六七九)一三一

ラベルパワー SHINWA LABEL

進和ラベル印刷 株式会社
〒999-3104 上山市蔵王の森10番地
TEL (023) 672-7577

東京駅 5分、家族経営の温かな料理店

上山中学校昭和40年度卒業
上山小学校昭和37年度卒業
さて、誰でしょう?
変な頭が特徴です。

中央区日本橋2-2-15 日本橋ティートビル2階
☎03-3274-1797 上京の折、ぜひご来店ください。

山交ハイヤー 〇一三(六七〇)一六一
観光タクシー 〇一三(六七〇)二三三三
上山タクシー 〇一三(六七〇)一一一
上山レンタカー 〇一三(六七〇)四一九〇

栗川稻荷神社
上山市松山一-一五二鎮座
社務所 ☎〇一三(六七〇)三五〇〇

月例元御
祭
大祭
祭
祭
神
稻倉魂
命

由緒沿革
栗川稻荷神社は備中國庭瀬の城主
松平信通公が城中守護神として奉祠
され、厚く信仰されてきたお社であ
ります。

元禄十九年九月出羽国上山に国替を
命ぜられ、その後松平家の守護神と
して城内に社殿を造り、固い信仰を捧
げたのであります。

大政奉還の後は現在地の松山高台
に勧請鎮座を致し、年を重ねる毎に
県内はもちろん県外よりの多くの参
拝者を迎えるようになりました。

月刊『かみのやま』第298号 発行日 2026年2月1日
編集・制作/有限会社スタジオ・ワン 発行/上山を元気にする会
〒999-3145 上山市河崎2-4-23 ☎090-3363-5978 FAX:023-673-2023
発行人/阿部檀 編集人/岩井哲 題字/故木村藏六 編集協力/鎌上宏

梅なめ茸・山の酒盃

梅なめ茸(400g)セット
山の酒盃(500g)

20名様に プレゼント!

提供/丸松物産株式会社様
応募締切 2月15日(日)

◆応募方法
ハガキに「〒・住所・氏名・年齢・電話」をご記入の上、
(有)スタジオ・ワン「月刊 かみのやま」プレゼント係まで
宛先 〒999-3145 上山市河崎2-4-23

明日のそばを語る会 応募者多数のため抽選させていただきました。
お食事券は各店舗より発送いたします。

大石	好江(美咲町)	横田美智子(仙台市)	黒田 映子(石堂)	大石みち子(山形市)
松田	秀幸(小穴)	星 秀幸(中山)	菅野 孝子(金瓶)	千葉 敦子(みはらしの丘)
今野	睦美(高野)	山口 唯(桜田東)	木村美枝子(石曾根)	八木とも子(大野目)
荒木	祐輔(寒河江市)	久保 孝久(御井戸丁)	久保田恵子(金生)	松田 一起(南陽市)
酒井	広次(金生)	渡邊 瞳(金瓶)	木村 優香(南町)	奥山千佳子(鶴脛町)

メンマの名付け親

丸松物産株式会社

山形工場 山形県上山市新北浦3番地 TEL:023-673-5511
東京本社 東京都世田谷区代田1-47-2 TEL:03-3419-1611
<http://www.marumatsu-mb.co.jp>



こんにゃく番所

懐石料理 お土産 カフェ
ギフトも承っております



公式HP

橋下宿 丹野こんにゃく

〒999-3224
山形県上山市皆沢諏訪前608-1
TEL 023-674-2351
FAX 023-674-2515
<http://www.tannokonnyaku.co.jp>

なつかしい和 (なごみ) の空間

かみのやま温泉葉山 彩花亭
さいかてい

時代屋
じだいや

☎ (023) 672-2451
<http://saikatei-jidaiya.jp>

上山温泉・葉山

名月荘
MEIGETUSOU

〒999-3242 上山市葉山5-50
TEL.023-672-0330(代表)
フリーダイヤル 0120-72-0330

月岡城址の宿

山形県かみのやま温泉



山形県 かみのやま温泉

● 仙溪園月岡ホテル

〒999-3141 山形県上山市新湯1-33
TEL.023-672-1212(代)

かみのやま温泉 葉山

はたごの心
橋本屋

電話 023-672-0295
FAX 023-672-0425

ホームページ <http://www.hashimotoya.com>